

令和7年度 六浦地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

六浦地域は65歳以上の高齢化率が高く(六浦地区:29%、六浦西地区:34%)、独居・高齢化世帯が多く、要介護認定率(約20%)、75歳以上の高齢化率(六浦地区16%、六浦西地区20%)も高い状況で、介護相談も増加傾向です。住民は古くから住んでいる方が比較的多くボランティア活動等、活発なインフォーマル活動が特徴です。急速な高齢化の進展は深刻で独居、高齢者世帯率に関しては金沢区内で1,2位と高くなっています。土地は土砂災害警戒区域の指定場所が数か所、ハザードマップ(津波被害予想)で浸水危険地域も在り福祉避難所の役割も重要な地点です。坂道が多くインフラ整備が少ない地区もあり外出困難の問題が課題です。その様な地域課題に、(自助・共助・公助)の地域力で取り組むよう、地域の新たな担い手世代も取り組む仕組みを構築して、区、医療・福祉の関係機関で連携を強化し、様々な地域活動の推進や地域福祉保健計画を推進していきたいと考えております。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	☐	個別ケア会議と包括レベル会議を開催して、残った課題は、民児協や町内会等で地域の関係者と共有、検討して対応に取り組む。
■	☐	毎月の定例会議・研修の目標を明確にして、ケアプラザ内の行動目標を立て、共通の認識を持って業務に取り組む環境を作る。
☐	■	地域の担い手となる住民や関係者との交流を行い、顔の見える関係づくりを構築し、困りごと等の声を拾い、相談しやすい環境を作る。多職種間では情報共有等を有効に行うよう地域ケア会議を開催する。
☐	■	地区支援チームの各機関間で住民主体の地域づくりに有益となる情報共有が行えるように、事業の振り返りを行う過程で情報提供を声掛けして、情報が相互に流通するように心がける。
☐	■	認知症の理解を深める講座を、町内会関係者と企画段階から協働。地域の実状を鑑みながら、地域課題に即した研修を開催して、地域住民が実践できる取り組みを構築していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント